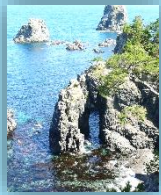


# 青海島自然研究路散策マップ



青海島自然研究路は、「メモリアルロード」と呼ばれている散策路で、十六羅漢、変装行列、象の鼻など名付られた奇岩群を眼下に眺めることができます。自然が作り出した雄大な岩の芸術品を鑑賞できる散策路です。



象の鼻



変装行列



十六羅漢

第2展望台

静が浦

第1展望台  
(碧濤台)

中の浦

小回りコース

4

6

3

7

2

1

8

9

10

11

12

13

県道  
283



青海島さくらの里



青海島海水浴場

青海島キャンプ村

青海島ミニビジターセンター



青海島自然研究路の主な通り13ヶ所の解説板が設置されています。  
 ①船越 ②暖地性の北限地 ③長浜群洞 ④瀬叢(せら) ⑤碧濤台(へきとうだい) ⑥和この浦(中の浦) ⑦暖地性植物 ⑧ヒメスズメの群生 ⑨十六羅漢 ⑩静が浦 ⑪ワラビ ⑫外海と内海 ⑬紫津浦湾(しつづらわん)の捕鯨



=解説版設置箇所

Aコース=①～⑩を歩いてPへ(1,200m・40分)

Bコース=①～⑬を歩いて県道283号へ(1,900m・60分)

小回りコース=①～⑤を歩いてPへ(20分)

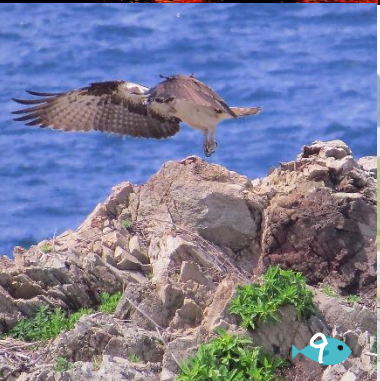
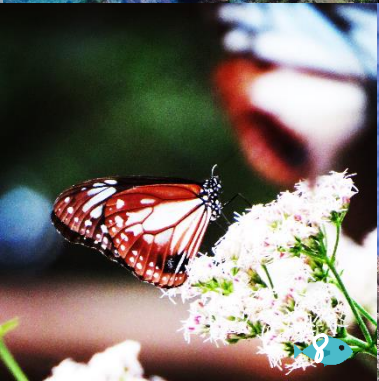
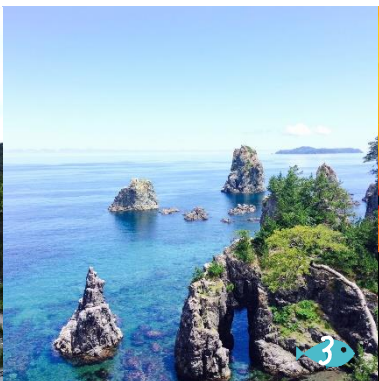
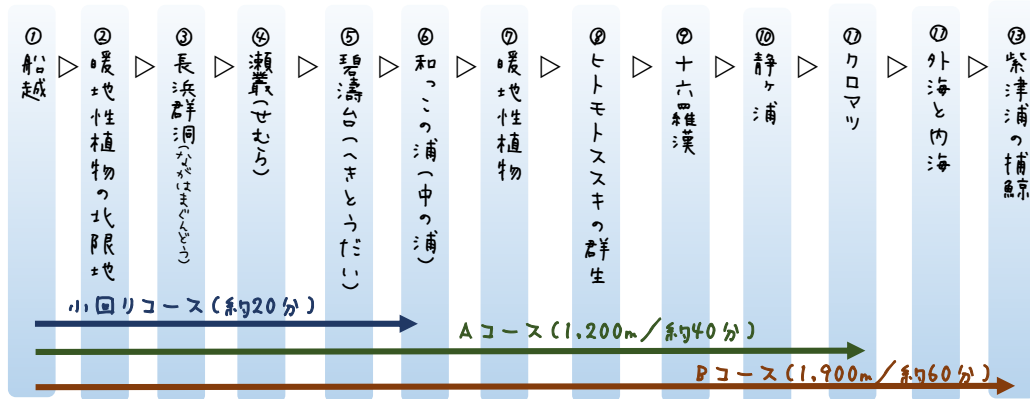
# 青海島自然石研究路普散策

自然が作り出す雄大な岩の芸術品と

四季折々の草花を鑑賞できる普散策路



青海島自然研究路は「メモリアルロード」とも呼ばれている普散策路で、十六羅漢、変装行列、象の鼻などと名付けられた可岩群を眼下に眺めることができます。普散策路は全長1,900mにわたり、随所に植物や名勝についての解説板が設置されています。



**① 瀬巖(せむら)**  
標高約40m、眼下に浮かぶさまざまな形の岩礁が白波に洗われる光景が美しい! 東山魁夷画伯が「崖宮殿・長和殿」波の間」に創り出した壁画「朝明けの潮」のモチーフになっています。

**② 第1展望台・碧濤台からの眺め**  
びり立つ断崖が岩に囲まれた中の道。2本の岩柱が直立する変装行列が、遠くにかすむ岩の見島まで見渡せます。

**③ 象の鼻**  
大きな象が長い鼻を水面に垂らして水を飲んでいるように見えることが名が付けられました。

**④ 変装行列**  
びり立つ2本の岩柱の間に夕陽が落ちていく光景はまさに絶景! 夏の限られた時期にしか見られない景色です。

**⑤⑥ 第2展望台からの眺め**  
十六体の仏像が立ち並ぶように思われるような風景と、影の中の相島、尻島を望むことができます。また、ピリリと冷たい空気が青海島クルーズ船が岩間を進む様子を眺めることもできますよ!

**⑦ 静ヶ浦**  
第2展望台から回り込んだ先の静ヶ浦は、海辺まで降りることができません。目の前に広がる雄大な眺めが素晴らしい! ※7月、夏期(7月中旬~9月中旬)に特別に海水浴場が設けられます。

**⑧ アサギマダラ**  
長距離を移動することから「旅するチョウ」と呼ばれます。自然研究路付近では春(5月頃)と秋(10月頃)に飛び回る姿を見ることができます。

**⑨ ミナゴ**  
魚を捕食することから、「魚鷹(うおたか)」の異名があります。主に海岸に生息し、水面をゆっくりと低空飛行して獲物を探します。